

○議長（松尾徹郎君）

それでは一般質問を行います。

阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。〔2番 阿部裕和君登壇〕

○2番（阿部裕和君）

おはようございます。みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をさせていただきます。

1、青海シーサイドパークの有効活用による地域の魅力向上と活性化について。

青海シーサイドパークは須沢臨海公園、ドームなぎさ、多目的広場、炊事場等の様々な施設・機能により構成され、さらには須沢海岸に隣接し、夕日をキレイに望むことができるエリアです。

須沢海岸では多くの方が県内外からヒスイを求め来訪されていますが、この須沢海岸は市内海岸の中でもトップクラスに来訪者がおり、それに加え釣りやキャンプでの集客も多くあります。

また、須沢臨海公園は市民はもちろん、市外の方も利用される「地域の枠を越えた糸魚川市を代表する公園」となっており、公園遊具の拡充を求める声も多く聞かれています。

当エリアの施設整備がされた当初とは状況が大きく変化しており、現状を踏まえた上で今後の在

り方を検討する必要があると考え、以下伺います。

- (1) ヒスイ探しをはじめ、多くの方が海岸に訪れていますが、ドームなぎさが有効的に活用されているとは言えない状況です。ヒスイに絡めたイベントや、夕日をキーワードにしたイベントを開催するなど、ドームなぎさの活用について、お考えを伺います。
- (2) ヒスイ探しや釣りに来られた方に対し、市内消費につなげるための取組について、お考えがないか伺います。
- (3) 多くの方からパターゴルフ場を利用してもらうために料金改定やオートキャンプ場利用者割引等、利用促進の取組を進めてきましたが、その後も利用者数に大きな変化は見られず、ここ数年、利用者数は延べ人数で700人前後にとどまっています。パターゴルフ場の今後の運営について、お考えを伺います。
- (4) 利用者から公園遊具の充実を望む声も聞かれています。子供から人気を集めている「ふわふわドーム」の設置をはじめ、遊具の拡充について、お考えがないか伺います。
- (5) 広大な敷地を生かしたドッグランの設置について、お考えがないか伺います。
- (6) 施設の老朽化や、各施設・機能の利用状況を鑑み、今後の在り方について検討し、ニーズを捉えた整備をしていくお考えがないか伺います。

## 2、翠ペイの利用促進について。

翠ペイを広げていくためには、大手キャッシュレス決済サービスと差別化を図り、独自の価値を提供し、地域に根差したものにしていかなければならないと考えます。

以下伺います。

- (1) 翠ペイアプリ利用者、カード利用者、それぞれ何人が利用されているか伺います。
- (2) いといがわdeお買い物「プレミアム商品券'22～'23」の販売実績と、翠ペイの1回目、2回目キャンペーン、通常チャージ、それぞれの実績を伺います。
- (3) 市の事業やボランティア活動へ参加することで行政ポイントを発行し、翠ペイポイントとして付与していますが、これによってどのような効果が見られたか伺います。
- (4) 現金チャージをした際、チャージした分がマネーとして、チャージ額の1%がポイントとして付与されますが、マネー・ポイントともにチャージから半年後に失効してしまうのが現状です。現金チャージ分のマネーについて、有効期限の撤廃に向けた取組の進捗状況を伺います。
- (5) 7月末、8月末ともに現金チャージから半年がたち、有効期限を迎え、失効となったマネー・ポイントがそれぞれどれだけあったか伺います。
- (6) 中高生や若者世代を巻き込んだ利用促進について、お考えがないか伺います。
- (7) 高齢者やデジタルの扱いに不慣れな方々に対して、使い方の説明等、サポート体制について伺います。
- (8) 利用者や加盟店の意見を収集し、サービス改善へ向け、どのような取組を行ってきたか伺います。
- (9) 利用者を増やすために大胆なキャンペーンの実施や、市の事業との連携等、今後の展開について伺います。

## 3、海望施設設置及び展望台のリニューアルについて。

糸魚川駅から真つすぐ海に向かった場所にある展望台は、市民から親しまれるなじみの施設であります。観光客やインバウンド等、多くの方が訪れ、海や夕日をはじめとした景観を楽しまれています。

また、糸魚川市駅北復興まちづくり計画の中では海望施設設置について検討するともあります。これらの施設整備を進め、観光振興や交流人口の拡大、経済が循環する施策につなげていく必要があると考えます。

以下、伺います。

- (1) 海望施設設置に向けた検討状況を伺います。
- (2) 展望台は経年劣化により、塗装の剥がれが見られております。塗装の塗り直しやリニューアル等について、お考えがないか伺います。
- (3) 展望台に訪れた方を駅前回遊や市内消費につなげるため、どのような取組を行ってきたか伺います。

以上、1回目の質問です。よろしく願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

おはようございます。

阿部議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、現在、健康づくりや、おうみ祭りでのイベント等で活用されております。今後も地域の皆様や関係機関等のご意見を伺いながら、さらなる活用に努めてまいります。

2点目につきましては、須沢臨海公園管理棟に市内飲食店のパンフレットを設置いたしております。

3点目につきましては、利用者や土地所有者等の意見を伺いながら、今後の在り方について検討してまいります。

4点目につきましては、市内全体における公園の遊具の設置状況を踏まえ、検討してまいります。

5点目につきましては、県に確認したところ、青海シーサイドパークが海岸保全区域であることから、現時点では設置が難しいとお聞きいたしております。

6点目につきましては、市民、県等の関係者と協議しながら検討してまいります。

2番目の1点目につきましては、8月末現在で、アプリ利用者が1,472人、カード利用者が345人となっております。

2点目につきましては、令和4年度に実施いたしました「いといがわdeお買い物モノプレミアム商品券」の販売額は4億8,332万円であり、キャンペーンにおけるチャージ額は15%トクしちゃおうキャンペーンで約2,085万円、元気応援キャンペーンで約1,130万円であります。また、令和6年2月から8月までの通常チャージ額は約1,540万円となっております。

3点目につきましては、まだ行政ポイントの効果は測られておりませんが、行政の取組に市民の皆様が関心を持って実践していただけるよう、さらなる普及を図るとともに、地域内経済の循環や

キャッシュレス化を推進してまいりたいと考えております。

4点目につきましては、有効期限の変更に向けて、現在、国と協議を進めております。

5点目につきましては、失効したマネーとポイントは、7月末で約16万2,000円、8月末で約7万1,000円であります。

6点目につきましては、今後、中高生も気軽に利用できるよう、行政ポイントを検討してまいります。

7点目につきましては、コールセンターや事務局において丁寧に対応しているほか、スマートフォン講座の中で、翠ペイの利用方法を説明いたしております。

8点目につきましては、ご意見や問合せの主なものは、キャンペーンの内容や機器の操作に関するものであり、コールセンターや事務局で説明を行っております。

9点目につきましては、今月から物価高騰対策と併せて利用促進キャンペーンを実施する予定であり、市からの給付金等に翠ペイを活用することも検討いたしております。

3点目の1点目と2点目につきましては、既存の展望台についてリニューアルを予定しており、現在、検討を進めております。

3点目につきましては、展望台について、日本海と北アルプスが一望できる場所であることから、解説板を設置するとともに、糸魚川駅からの誘導サインにより、回遊を促しております。

以上、お答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

それでは、順番を入れ替えて、3番から海望施設及び展望台についてお聞きいたします。

今、市長答弁で1、2一緒という考えでお答えいただいたかと思うんですけれども、海望施設と展望台は、また別のものだと、私、把握しておるんですけれども、いかがですか。お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

おはようございます。

お答えさせていただきます。

海望施設につきましては、海望展望台を含まれた施設だというふうに理解していただきたいなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

分かりました。

駅北復興まちづくり計画が、平成29年8月に示されています。その中には、海望施設を新たに建設し、というふうに私は捉えていたんですけども、その中では、2021年度までに供用開始するというようなことが書いてあったんですけども、令和元年の5月に示された改訂版では、2021年度までに機能や駅周辺の拠点施設との関係を踏まえた整備案の検討をし、基本構想、基本計画の策定を計画するというふうに変更されております。海望施設の設置へ向けた計画というのは、議会に示されたことが今までにないかと思うんですけども、現在はどこまで進んでいるのか、また、当初の計画どおりに進んでいない理由も、併せてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

内山都市政策課長。〔都市政策課長 内山俊洋君登壇〕

○都市政策課長（内山俊洋君）

おはようございます。

お答えいたします。

この施設に関しましては、計画にのっておりますけども、早期に復旧・復興に取り組むということで、無電柱化ですとか、後は今の子育て支援複合施設、そういった優先的に取り組むべき事業のほうから進めておまして、今現在、展望台のリニューアルに向けた検討を進めているといった状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

分かりました。

その展望台のリニューアルというところなんですけれども、実際に展望台に上がってみますと、やはりデッキの幅が狭く、もう少し広げていただきたいなというふうに思っております。実際に利用されている方、市外の方も多と思うんですけども、本当に人気なスポットとなっているんじゃないかなというふうに思います。

また、設計上なかなか難しかったり、いろんな制約がある中で課題も多いかと思うんですけども、海側にデッキをせり出していくような形というのも検討できたらなというふうに私考えておるんですけども、そういった大幅なリニューアルをお考えなのか。それとも現状、先ほど通告書にも書いたように、塗装の剥がれが相当目立っていると思います。これを塗り直すだけの計画なのか、大幅なリニューアルなのか軽微なものなのか、どこまで検討が進んでいるか、お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

おはようございます。

お答えいたします。

海望施設につきましては、今既存の展望台の設備とか機能を生かして、地域の人にも観光客にも

多く訪れるようなリニューアルの検討を進めております。今ほどお話ありましたとおり、大々的にやるのか修繕なのかというご質問なんですけども、やはりせり出すということになりますと、やはり海岸とか国道とかの規制等もありますので、今現状としては、現在あるものを生かしながら、例えば展望スペースをどう有効利用するか、そういうものも含めまして、現在、庁内の関係課のほうで協議のほうを進めている段階でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

そのスケジュール感というのは、いつまでに供用というか修繕完了したいというふうなイメージで進められているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

具体的には、いつまでかというものは特には明示しないんですけども、こういった調査といたしますか地元の要望等もありますので、できるだけ早いうちに進めるようにしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひとも検討の加速、進みますよう、よろしく願いいたします。

また、リニューアルをした場合でも、大規模なリニューアルであろうと地下道のほうは、今使っているものをそのまま使われるかと思えます。地下道についても同様に老朽化が進んでいると考えます。その塗装なりの修繕というのを業者さんにやってもらうのではなく、中高生に絵を描いてもらったり、市民からデザインを募集して進めていくなど、市民参加型のイベントとして塗り直しなどに進めないかなというふうに思っております。

これらのメリットとして、地域への愛着の増加、また小さいながらもコミュニティというのも生まれてくるかと思えます。また、地下道が単なる通路ではなく、アートスポットとしても機能することが考えられます。

今ほど検討段階というふうなお話あったんですけども、こういった発想を取り入れたものになっていきますでしょうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

今ほどお話のありました地下通路の整備のほうにつきましては、今ほどお話ありましたとおり、

単なる通路ではなくて、展望台や地下通路入り口周辺を一体となるスポットとして、観光客のみならず、地域の人にも訪れたいようなものにしたいと考えております。現在、庁内の関係課で協議しているところでございますけども、今ほどご提言いただいた意見も参考に、検討のほうを進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ありがとうございます。またそういうふうな市民参加型というところで、参加された方には、また翠ペイのポイント等も付与していけるような形になると面白いかなというふうに思っております。

(3)について、今展望台の地下道なんですけれども、弁天岩、押上ひすい海岸、親不知、また市振の4枚のパネルが設置されております。地下道ということもあり、やっぱり汚れのほうが目立っております。これらパネルは、糸魚川市全体のPRのために設置されているものかと思うんですけれども、駅へ誘導する、駅周辺に行ってもらおうというようなPRの仕方も考えていかなければいけないんじゃないかなというふうに思っております。

展望台に集まる方の特徴として、もちろん新幹線、駅を利用される方は多いんですけれども、見てみますと、車とかバイクで来られてる人も展望台、多くなっております。

今ほど、駅からサインを出して回ってもらおうようなというように、駅を起点とした考え方であったと思うんですけれども、ちょっと少し角度を変えてもらって、展望台を起点とした観光動線というのも検討を進めていただきたいと思います。パネルの更新も含め、駅周辺を回りたくなる仕掛けづくり等、施策の展開をしていただきたいと思いますというふうに思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

ご指摘のとおり、地下道のパネルにつきましては、設置から十数年たっておりまして、どちらかといいますと見苦しい形になっておるのかなと思っております。そちらにつきましても、展望台の検討と併せて設置の在り方を検討していきたいなと思っております。

また、ご質問のとおり、展望台に来られる方は、車やバイクなど、直接展望台に来られる方も多くなってきたかなと思っております。それはやはり駅北大火の整備におきまして、駐車場も新たに整備したこともメリットだったのかなと思っております。

そういった中で、ご提言のとおりどこが起点ということではなくて、周遊できる観光動態につきまして、ハード面やソフト面での仕掛けづくりが必要であるかなというふうに考えております。今後、リニューアルの検討の中で関係者の意見を聞きながら、どこまで取り入れるかどうか分かりませんが、検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

よろしくお願ひいたします。これから予定されている駅北子育て支援複合施設もキターレも、駅前通りからは1本やっぱり中に入っているものでございます。やはり状況を見ますと、駅と海の見き来はあるんですけれども、そこからやっぱり中に入るといふ施策を考えていくと、行政側が思い描いているにぎわいといふのにも一歩近づいていくんじゃないかなといふふうに思いますので、ぜひともこの件に関しては、地域の方、商店街の方ともしっかり意見交換をしていただいて、駅を回りたくなるような、駅周辺を回りたくなるようなまちに展開していただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。

続きまして、1、青海シーサイドパークのほうに戻ります。

この件については、以前も一般質問で取り上げておりました、ドーム活用についても質問しております。現在、地域住民や自治会の方とはどのような協議、行われていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

おはようございます。

ご質問にお答えいたします。

青海シーサイドパークにつきましては、現在、協議の場といふのは設けられておりませんが、自治会等から要望等がありました都度、協議、回答、対応等をしているという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

以前の回答では、自治会と協議を進めていきたいといふふうなお話あったので、ぜひとも積極的に行政としても進めていただければと思います。

また、須沢海岸のほうなんですけれども、ヒスイ探しや釣りでの来訪者が本当に多く、年々増えております。こういった方々に対しても、市内で飲食してもらい、泊まってもらうといふのはすごくハードル高いと思うんですけれども、ご回答では、管理棟といふところだったんですけど、そういう方は管理棟になかなか入ることもないかと思うんですけれども、ヒスイ探しの方、釣りの方にどういったアプローチが今後できるかと考えておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

先ほど市長答弁でもお答えしたとおりになりますが、また、そのほかに観光協会のホームページ等に観光情報等がございますし、市のホームページのオートキャンプ場の予約サイトといふところで、私どものほうで観光情報等のリンクを貼っているという状況でございます。



〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

本当に提案になってしまうんですけれども、ぜひともこのドームを有効に活用したものを展開していただきたいなというふうに思います。各関係機関と協力して、例えばですけれども石のイベントなどを開催、そのイベントの趣旨としては、石のまち糸魚川のPRのため、ヒスイをはじめとした石鑑定の実施、また、そういった方々に対して、その場で外貨を落としてもらえるような取組、例えばドーム周辺を囲むようにキッチンカーを配置いたしまして飲食の出店をするなど、各所と連携し、イベントを開催していただきたいなというふうに思います。

また、糸魚川の夕日というのも、先ほどの展望台にもつながるんですけれども、本当に私たちが思っているよりも夕日というのは、外の人にとっては魅力的なのかなというふうに思っております。

こういった提案、以前もしているものなんですけれども、今までのそういった状況を見まして、市としてはドームの活用についてどういう展開をお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

市といたしましても、このドームなぎさにつきましては、市民の皆様から有効に活用していただきたいなというふうに思っております。

議員ご提案の件につきましては、環境整備を、地元ですとか、ドームなぎさの所有者が新潟県ということもありますので、そちらのほうと協議連携をしながら対応のほうを考えていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

昨日も親不知ピアパークでヒスイのイベントがあつて、私も行って来たんですけれども、多くの方がおられました。ヒスイ探しにも没頭されていて、石川県の家族からもいろいろお話聞かせてもらったり、本当に人気なんだなというふうに思いました。

ピアパークがある歌外波地区というのは、やっぱり住民も少なくなってきていて、これを須沢で展開できると、地区住民も巻き込んだイベントになっていって、よりにぎやかなんじゃないかなというふうに思うんで、そういったのもぜひとも検討のほう、よろしく願いいたします。

また、現状、ドームなぎさは、大型休憩施設というふうな位置づけで、利用規約等が様々あります。できることが本当に限られていますんで、ぜひとも休憩施設以外の利用用途で使えるような、所有者である県にも要望、規約の緩和ですとかも要望していただきたいなというふうに思います。

続いて、（3）パターゴルフ場についてお聞きいたします。

設置当時の理念としては、住民福祉や健康増進などを目的にパターゴルフ場が設置されたと思うんですけども、現在その役割というのは、十分に果たせていないんじゃないかなというふうに私考えております。その点については、どう受け止めておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

パターゴルフ場の利用者につきましては、現在、議員おっしゃるとおり、伸び悩んでいるというのが現状でございます。これまでも多くの方がオープン以来利用しているという状況でございますので、住民福祉、健康増進という目的につきましては、一定の成果というものがあったんではないかというふうに私どものほうは考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

今までに料金改定等の利用促進のほうに取り組んでおられたかと思うんですけども、なかなか利用者数に大きな変化というのはなかったかと認識しております。現状でも年間パスを買われて、楽しまれてる方もおられるんですけども、やはり競技人口というのは減っていて、これからも人口減少が続く中で、どんな目的で誰をターゲットにして、利用者増に取り組んでいくお考えか、また、どんな施策を展開していくお考えか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

パターゴルフ場の利用者につきましては、その時々々のブームやレジャーの多様化などが要因の一つという形で減少しているものと私どものほうでは推察しております。今までも利用状況、利用者増の取組ということで様々な取組をしている中で、先ほど申し上げましたとおり、伸び悩んでいるという状況がございますので、同様の施設、他市の事例等を参考にしながら、今後の抜本的な在り方につきましても、利用者、また土地の所有者等と検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひともこの件に関しましても、利用者であったり地域住民と一緒に協議して、本当に一緒に考えていていただきたいというふうに思っております。

次に行きます。（４）公園遊具の充実についてでございます。

市内の家族の多くが子供を連れて、隣の入善町の中央公園や上越、新井に遊びにいらしています。

要因の一つとして、買物のついでというところもあるかと思うんですけども、まず第一として、それらの公園が親子から喜ばれる公園であるということが言えるかと思えます。私の同世代からも、糸魚川のどこへ遊びにいったか分からないというようなお声もいただいている中で、そんな中で現在、糸魚川の駅北子育て支援複合施設の整備についても進められているというふうに思っております。これが実現できればそういった声の解消というものにもつながっていくかと考えるんですが、外で遊ぶ場所もやはり充実してほしいというお声が聞かれています。

市内には、77の様々な公園があり、糸魚川市の財政状況を見ましても、このまま全てを維持管理していくことは難しく、公共施設等総合管理指針の計画についても、統廃合を含め、一歩踏み込んだ議論を進めていただきたいと思います。

一方で、須沢臨海公園のような市の核となる公園については、さらなる整備を進めて、利用者の満足度向上を図って、糸魚川市全体の魅力の向上に努めていかなければならないと思えます。

そこで、1点お聞きしたいのが、市の考え方として、市民からよく利用されている市の核となる公園について、今後、遊具や機能を充実させていくというお考え、あるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

遊具や公園機能を充実させるということになりますと、今以上に維持管理費がかかる上に遊具の破損等で事故発生リスク等が高まることが考えられます。地域の実情とかあるいは財政状況を踏まえて、使われている利用者のニーズに合った計画的な公園づくりのほうを進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

承知いたしました。その中で、やっぱりふわふわドームというのが、一つ目玉になる遊具なのかというふうに思っております。近場では、先ほどの入善の公園、黒部の道の駅、高田公園などに設置されていて、親世代はもちろん、孫の面倒を見るおじいちゃん、おばあちゃんからも、ふわふわドームの設置できないかなというふうに私、意見を承っております。

須沢臨海公園なんですが、平日には学校帰りの小中学生、休日には地域住民だけでなく、市内全域の子育て世代、お孫さんの子守をされるおじいちゃん、おばあちゃん、子育てに関わっておられる全ての方からの利用が多くあります。また、隣接するオートキャンプ場を利用する家族も、公園で遊ぶ姿が見受けられます。

こういったことから須沢臨海公園は、市民はもちろん市外の方からも利用される、糸魚川市を代表する地域の枠を超えた公園であるというふうに考えますし、ここを充実させていくということは

糸魚川市にとってメリットが多くあると考えますが、ふわふわドームの設置を含め、公園の充実を図るお考えを改めてお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

今ほどご提言のありましたふわふわドームのほうにつきましては、このふわふわドームを設置することは、子供の遊び場の不足とか、あと観光客の目新しいスポットとなりまして、地域の観光振興につながる可能性を秘めていると思います。

ただ、その反面、設置に関しましては、初期費用だけではなくて、定期的なメンテナンス費用も必要となる上に、子供がけがをする可能性も増すことから、今以上に安全管理等の体制の構築が必要となると考えられます。また、ごみ、騒音、交通渋滞とか、そういった周辺地区への影響も考慮する必要があると考えます。

いずれにしましても、当市の実情と導入によるメリット、デメリットを踏まえまして、他の市町村の事例等を参考にしてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

おはようございます。

お答えいたします。

阿部議員は、重点的な公園をしっかりと整備するよというお話だというふうに思っています。例えば美山公園ですとかマリンドリーム能生、それから須沢臨海公園は、そういった場所になり得るというふうに考えています。

それで、須沢臨海公園のことを主に今おっしゃってるんで、そこに触れてみますと、大型遊具があって、一時は路上駐車が非常に多かった。そういった中で駐車場の整備なども行ってきています。

それから、先ほど来、パターゴルフ場の話もありましたけれども、今後に向けて、そういった全体を見直す中で、市民の皆さんもちろんなんですけども、市外の皆さんから親しんでいただける公園整備、そういったものに取り組んでいきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

井川副市長、ありがとうございます。前向きな答弁だというふうに受け止めました。

やはり子供が少なくなっていくというところもあると思うんですけども、子供だけじゃなくて、それを見る親であったり、おじいちゃん、おばあちゃん、多くの人に関わってくるものであると思います。そこをやっぱり整備するというのを、投資するというような感覚ですかね。やっぱりそこを充実させていくことで、糸魚川市の発展に本当に大きくつながってくる事柄だと思っております。

改めて市長、お考え、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今ほど井川副市長がお答えいたしたように、やはり相対的に見ても須沢臨海公園というのは非常に可能性を秘めておるところだと思っております。

しかしながら、一定期間を過ぎて、少しニーズが薄れているものもございますので、そういったところを併せながら、これは市だけではできるものではございません。県の施設でございますので、県と連携を取りながら、また、地域住民の皆様方や、そして、そういうものを含めながら、ぜひともやはり有効活用、そして、さらに市外からも魅力あるものと受け止められるような施設に持っていくことが、私は須沢臨海公園はなり得る施設だろうと思っておりますので、そういったところを検討していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市長、ありがとうございます。

公園の利用についてなんですけれども、現状、須沢臨海公園の話をしみますと、利用案内板には、テントの使用禁止というふうに書いてあります。当時、テントの設営というのが、地面にくいを打つことを想定されていたかと思うんですけれども、最近の公園では、ワンタッチテントというのを広げて、日よけをしている家族であったりというのが見受けられるんですけれども、こういった状況を見まして、この須沢臨海公園に限らず市内の公園の利用緩和というのは、お考えありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

昨今のアウトドアブームもありまして、様々なタイプのテントがありますけれども、通常は、キャンプ場にてテントのほうを使用していただきたいと思います。

公園は、多くの方が共有される公共の場所であることから、一部の方がテントを設置して、場所を占有しますと、他の利用者への影響が生じることが考えられます。そのため、公園の種類・規模によりまして、一時的にテントを設営することは制限しているところが多いというのが実情でございますので、ご理解のほうをお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

また、公園利用が多くなってくると、そういった声も利用者から聞かれた場合、ぜひとも検討していただきたいというふうに思います。

続きまして、公園の管理棟なんですけれども、老朽化によって、さびが出てきておったり、雨漏りもしている状況であります。須沢臨海公園や青海シーサイドパークの整備から20年以上経過しており、当時とは状況も大きく変化しております。最近では、須沢海岸での石の見学ツアーが行われており、大型バスでの来訪も増えておりますが、大型バスが入れる駐車場というものはありません。また、公園利用者増による駐車場の不足というの見受けられています。

これまで申し上げたことを踏まえ、今後の公園の在り方について、地域の方をはじめ、関わる方と協議する場を設け、市民ニーズに沿った整備に向けて取り組んでいただきたいと考えますが、市長答弁でもそういうことを進めたいというふうにありましたが、改めてお考えを伺わせてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

仲谷青海事務所長。〔青海事務所長 仲谷充史君登壇〕

○青海事務所長（仲谷充史君）

青海シーサイドパーク須沢臨海公園の今後の在り方につきましては、先ほど市長、副市長が答弁したとおり、市民に親しみのある、喜ばれる公園ということで、そういったものを目標に造っていきたいというふうに考えております。今後につきましては、地域の皆様、それから利用者、それから土地の所有者、それからシーサイドパークの所有者である新潟県等と、様々な角度から、また協議・検討のほうしてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

窓口というのが青海事務所になるかと思うんですけれども、糸魚川市の重要な観光資源だというふうに捉えて、糸魚川市全体で取り組んでいただくようお願い申し上げます。

続きまして、翠ペイについて伺います。

翠ペイの利用者、プレミアム商品券の販売実績、翠ペイのチャージ実績を比べてみましても、やはりまだまだ利用者を増やしていきなさいいけない状況だなというふうに考えております。

現在、翠ペイを利用している方、またはしていない方、両方から聞かれるんですけれども、最低限、今まで市内共通商品券が使えていたところでは、翠ペイが使えるようになると本当に利便性が上がるんだけだなというふうなご意見です。

プレミアム商品券や地域共通商品券のときは、やっぱりスーパーでの利用が多かったというふうなお答えあったんですけれども、そういったところを中心に、利用が多かったところを中心に、翠ペイに加盟していないお店については開拓していく必要があるんじゃないかなというふうに考えますが、いかががお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おはようございます。

お答えいたします。

加盟店につきましては、おっしゃるとおり、まだ200店舗を超えてはまいりましたけれども、少ない状況であります。もっともっとまだ増やしていくために、またキャンペーンなどの際に、そういった加盟店となっただけのような取組というのを強化していきたいと思っております。今ほどお話にありましたような加盟されていない店舗につきましても、声はかけさせていただいているという状況でございますが、なかなかこちらから制度の説明をさせてもらうといったところまでいかないところ、まだちょっと入り口でもう止まってしまうといったところも出てきておりました、苦戦している状況であります。今ほどもちょっと具体的に、今まであったお店、商品券が使えるお店をやっぱり具体的にもっと強化するべきだというご意見いただきましたので、改めまして、そういったところ、キャンペーンの機会などを通じて、取組のほうはしていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

加盟店にお願いするときに、どういうお願いの方法なんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

大きい店舗になりますと、まずは糸魚川市内にある店舗に連絡をさせていただいて、こういう地域通貨を導入していますので、ぜひ貴店、お宅様でも利用できるようお願いしたいという話をしますと、その次へ取り次いでいただくというスタイルになろうかと思えます。そこで、なかなか次のステップへ行かないといった現状もございますので、そういったところをクリアできるように、例えば本店の方とお話しできるような形になれるように、キャンペーンの内容なども周知しながら、次へ進めるようには取り組んでいきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

なかなか難しいんだろうなというのが分かるんですけども、ぜひとも根気強く、市民のために頑張ってください。よろしくお願ひします。

また、この利用促進というのを進める中で、課題の一つというのが、やっぱりポイントの失効だ

というふうに捉えております。今、国と協議している最中だと思うんですけども、有効期限の撤廃に向け、取組の推進というのは、今どんなもんなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

先ほど市長の答弁の中にもありましたように、有効期限を変更していくといった取組として、国と協議を進めさせていただいている状況です。それに対しまして、国のほうからの指導としては、やはり利用者の保護というのが、その資金決済に関する法律の目的でありますので、通貨発行等に関しましては、運営体制ですとか、より厳格な体制整備というのを求められているところであります。

したがいまして、振興協会の体制を整えるに当たって、まず、任意団体から法人化をしてきたところなんですけれども、まだまだもう1段階、2段階とクリアしていかなければならないところがあるようですので、引き続き国と協議を進めながら、また、連携する5団体とも協議をしながら、法律が求める基準を満たすように取り組んでいきたいというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

有効期限の撤廃ができれば、また本当に市民の見方というのも変わってくると思うので、ぜひともよろしくお願いいたします。

その失効についてなんですけれども、私もアプリ会員なんですけど、失効間近になると、1か月、2か月前ぐらいになると、7月末でなくなりますよとかというのが来ていたんですけども、カード会員に対しては、通知はしないというふうなお話が以前の中でありました。このことにより、アプリよりもカード会員のほうが失効額が多かったというふうに予想するんですが、今キャンペーンとして、翠ペイのカード会員をアプリ会員にしたら何ポイントというキャンペーンをこれからやるというふうなお話だったんですけども、このキャンペーンの目的というのは、やはりカードからアプリに移行してもらって、いずれこのカードをなくすというふうなお考えなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

この地域通貨の大きな目的の一つが、キャッシュレス化の推進ということでございました。

したがいまして、カードタイプですと、ある程度、商品券とあまり変わらないといった性質もございまして、できるだけ多くの方からカードからアプリ会員に動いていただくと、移っていただくといった取組は、引き続き進めていきたい。アプリ会員ですと、今ほど議員おっしゃっていただいたような、何らかこちらからの通知というのもしやすい、また届きやすい、受けやすいといった利点もございまして、そういった面からも進めていきたいというふうに思っております。



〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

続いて、（6）について伺います。

中高生をはじめとした若い世代から利用を伸ばしてもらう必要があると思うんですけども、その世代に利用してもらうような施策というのは、お考えはありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

失礼いたしました。7月からギフトカードというのも販売しておりますので、例えば今ほどの話と矛盾するかもしれませんが、スマホをお持ちでない中高生向けにもギフトカードの、500円のものとかを差し上げるといったことも可能ですので、行政ポイント、参加型の行政ポイントや何かでの活用といったところもできるかなというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

中高生を巻き込んだ取組の一つとして、決済メッセージ、今ありがとうとかというメッセージ流れてるんですけども、それを高校生や中高生に頼んで、録音できないかなというふうに思っております。例えばなんですけれども高校生20人で、1人1パターン、計20パターンのメッセージを録音して、その生徒には、お礼として翠ペイポイントのプレゼント。そうすると、そのメッセージを聞くために、その生徒の親御さんや友達が翠ペイを利用し始める。20パターンあるので、自分の子供やその友達に当たるまで利用する。そんな循環が生まれるイメージが湧いております。こういった取組をしていくことは、地域経済の循環だけでなく、地域に根差した、市民からも親しまれるものに育っていくというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

おっしゃるとおり翠ペイは、地元消費促進のツールでもありますので、ぜひ地域の皆さんからアイデアを出し合っていていただいて、楽しみながら使っていただくといった点もすごく大事なかなというふうに思っております。中高生の方、また若い方からアイデアをいただくということも非常によいかと思っておりますので、できるかどうかというところ、また、どのような形ならできるのかといったところも含めて、振興協会などを通じて、検討のほうはさせていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

こういう取組が進むと、今スマホ教室などで利用促進に取り組んでおられるかと思うんですけども、孫からそういう親だったり、おばあちゃんにというふうに、家族間で使い方が広がっていったりというのも予想されますので、ぜひともご検討のほうをよろしく願いいたします。

また、中高生から利用してもらうためには、その世代の声というのも聞く必要があると思うんですけども、今後どういった取組が考えられますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

先ほども申しあげましたように、行政ポイントでの、参加型の行政ポイントというのもございますので、そういったところですか、また、ボランティア型の行政ポイントなんかでも翠ペイの活用というのをしているところがございます。そういったところに中高生からも加わっていただくといったところも可能かなというふうに思っております。

先ほど来の中高生からアイデアをいただく仕組みというのが、なかなかちょっとどういったというのはちょっと具体的には申しあげられませんが、今後の検討とさせていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

キャンペーンについてちょっとご提言させていただきたいんですけども、翠ペイを使っている方が自分の友達等に利用を勧め、登録を促す口コミキャンペーンというのができないかなというふうに思います。今までの新規登録につながった場合、お互いインセンティブとしてポイントを得ることができる仕組みというのを考えていただきたいと思います。こういった、今まではこっちから出してただけなんですけれども、今度は人対人の、そういった取組というのも考えていく必要があると思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

ご提案ありがとうございます。今回も、例えばポイント付与率アップといったところだと、利用していただく人数が増えれば、頂けるポイント、パーセンテージがちょっと上がるといったキャンペーンも含まれております。少しやり方近いのかなというふうに聞かせていただきました。

ただ、おっしゃるとおり、目に見える、個人から個人へ伝えて、広げていただくといったところは、非常に身近なところから取り組める部分もありますので、そういったキャンペーンの仕方につ

いても、引き続き検討させていただきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市内企業で、ボーナスの一部を翠ペイ支給という企業があるというふうにお聞きしております。このような取組を市として行っていくというのは難しいのかなというふうに考えるんですけども、デジタル地域通貨のサービスを提供している側である市として、多くの市職員に利用を促す取組というのは、されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

地元消費促進ということで、市内の企業さんで、そのような取組をされているというお話はお聞きをしております。

市の職員に向けましては、グループウェア等を通じて、翠ペイがある、翠ペイに加入をしていただきたい。また、キャンペーンの内容なども告知をさせていただきながら、利用促進に努めているといった状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

庁舎内の売店でも翠ペイが使えたらどうかなというふうに思うんですけども、使えることができれば市の職員の利用増にもつながると思いますし、市役所に来た市民に対してもPRできると思うんですけども、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

市役所内にあります売店の運営のほうは、市の職員組合のほうの運営になります。たしか現在入っていただいているというふうに思っております。今ほどおっしゃっていただいた点もありますので、また引き続き加入していただけないかといったところは、努めていきたいというふうには思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ぜひともよろしく願いいたします。

私も補助金の話をしようかと思ったんですけども、市長答弁で翠ペイの補助金、補助金を翠ペイでの支給というふうに考えてるといのはあったんですけども、それで間違いないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

お答えいたします。

市の単独で給付事業等を行っているものがございます。そういったものも、可能なものから翠ペイのほうに移行したいというふうに考えています。

また、先ほど職員の翠ペイ利用のお話ございました。もともと地元消費をしっかり職員のほうに呼びかける中で、その中の一つのツールとして翠ペイを使っていく。そういったスタンスで、職員のほうにはしっかり地元消費のほうに貢献するように、また私のほうからも話をしたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

最後になりますが、翠ペイに加盟していないお店の方からは、翠ペイを導入しなくても売上げに変化がない。お客さんから翠ペイで支払いができるか聞かれたこともないというふうな厳しいご意見をいただいております。

今回の質問は、利用が増えることでお店側も加盟したくなる機運がつくられると見え、利用者増へ向けた観点で質問をいたしました。企画定住課が担当課となりますが、各種キャンペーンや行政ポイントの付与など、様々な課にまたがっている事業ですので、市内、庁内一丸となり、地域経済の好循環への取組を進めていただきたいと再度お願いを申し上げて、私の質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を10分といたします。

〈午前11時04分 休憩〉

〈午前11時10分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、中村 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕